

2007年10月29日
東京ガス株式会社

2007年度中間決算発表会 主な質疑応答

Q1: プレゼン資料の15ページに関連して、今期は原油価格の上昇に伴って原料費が大幅に増加し、当期中に回収できない多額の部分が発生するとのことだが、この分は原料費調整制度により来期に料金に上乗せされ、回収できるものなのか？

A1: 原料費調整制度は、原油価格の変動を概ね半年後に売上に反映させる仕組みですが、原油価格や為替レベルが現在のまま一定であると仮定すれば、来期には料金単価の上昇として売上に反映されます。しかし、原油価格および為替レベルが今よりもさらに原料費を押し上げる方向に進んだ場合は、さらなる未回収が発生するリスクがあります。

Q2: 築地市場が移転する予定となっている豊洲の土地で、環境基準を超える高濃度の汚染が確認されたとの報道があったが、今後の見通しを教えてください。

A2: 当社では、東京都の条例に則り、東京都のご指導を頂きながら調査・対策工事を行ってまいりました。このたび判明した汚染については、市場立地の安全性を検証するために東京都の専門家会議がさらに追加調査を行ったものであり、対策を検討すると伺っております。当社としては、今後の専門家会議の提言や東京都の対応等を注視していきたいと考えております。

以上